丑拾四番内

以書状啓上致し候、然者

一英国書記官差出候書翰写并御国より申立候
書面御下ケ之儀ニ付申上候書付并御国より書添
写共都合壱通

若去ル十二日和泉守殿江池田春次郎ヲ以進達
いたし候間写相廻し申候

一前条之儀ニ付拙者共横浜表江罷越英国公使
ヘ可及談判旨去ル十五日和泉守殿被仰渡候ニ付
同十七日出立罷越右横浜表江出張別会相済
即日帰着致し候委細ハ右之書類ニ而御承知可
被成候

一横濱在留英国公使江談判仕候趣申上候書付
并対話書其外書類差上候
昨廿八日右同人ゟ同人を以建議致し候ニ付写し
差進申候
一瑞西国与条約之儀ニ付同国より差越候写し
壱通
一横濱在留孛漏国コンシユルゟ書翰之要領書
神奈川奉行ゟ差越翻訳書類差上候
右差進申候
右之段可得御意如斯御座候以上
五月廿九日
新藤都義下
小出大和守様

大和守下

以内状致啓上候然者先便御用状ニ被進候其
段議所日記中ニ箱館表江戸場荷揚手續早
々美々被成候様ニ而国方中井啓義ゟ達書美々被成候右
右見候ヽ渡共候用状ニ而被仰越候之自然右
渉候儀ニ候哉否か最早不及違背之者聴候哉
難計候得共兎ニ角右書續書付候様差進候答
而然候取計可被成候右可得御意如斯候以上
丑六月三日
橋本樹義
山村惣三郎
栗山謙三郎
三田喜六様
平岡彦七様